

このたびは本機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。施工前にこの施工説明書をよくお読みの上、正しく施工してください。
●施工・取付には電気工事士法により電気工事士の資格が必要です。
●この説明書は施工後、施工主様へお渡しさせていただきます。
●同様の施工記入表に必要事項を記載し、施工員様にお渡しください。

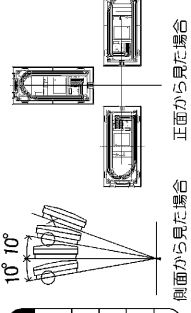
安全上のご注意

- 警告** 以下の表示が無視すると事故の原因となり、人が障害を負う可能性があります。
●電線は健康に差し込み、火災・感電の原因となります。
●機器を分解・改造しない。火災・感電の原因となります。
- 注意** 次の場所での設置および使用はしない。
●直射日光が当たる場所や温度が上昇するところ
●放射、液体のかかる感熱のあるところ
●湿度の高いところ
●温度が低いところ
●直接湯気や油煙のあたる場所
●ノイズの発生する場所

設置・施工に関するご注意

- 容易に操作・点検できる場所に取付けてください。
- 高温・多湿・じんあい・腐食性ガス・振動・衝撃など、異常な環境での使用は避けてください。
- 取付けの際には、平らな面を選び、適切な締付け力で行ってください。
- 室内には、障害となるようなものを置かないでください。
- 照明器具(ダウンライトなど)の近くに設置する場合は、使用される照明器具の直下取付けを避け、離してください。
- 電流センサの接続は、分電盤内部で接続できる位置に配置してください。
- LAN端子へ異物を挿入しないでください。変形・破損の原因となります。
- 下向きには取り付けられない。

仕様概要	
定格電圧	単相3線 AC100V 50/60Hz
定格消費電力	4W以下
使用温度範囲	0℃~40℃
寸法 (mm)	W150×H200×D110
質量	約2.0kg

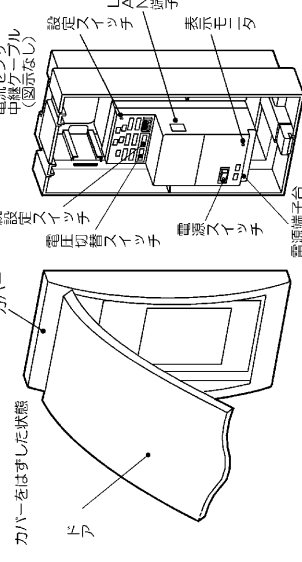


- LANケーブルの接続**
- LAN端子に1対4ケ素ポート (BTR-4010AZ) とを接続するLANケーブルは、CAT5以上のストレートケーブルを使用し、配線長は100m以内としてください。
 - LANケーブルと電源線は離れられないように配線してください。

付属品

- 主幹用電流センサ×2
- 分岐用電流センサ×10
- スパラルチューブ×1
- 施工説明書 (本書) ×1
- 設定ガイド×1
- 施工記入表×1

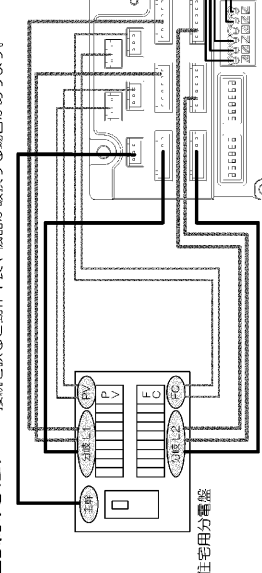
各部のなまえ



オプション品

- 分岐用電流センサ HEM-OP10A (gh11-20専用) HEM-OP20A (gh21-30専用)
- 分岐用センサ×10/接続ケーブル×2
- 分岐用センサ×1/接続ケーブル×1
- 分岐用電流センサ HEM-OP30A
- 分岐用電流センサ×1/接続ケーブル×1
- 延長ケーブル HEM-OP40A
- センサ延長ケーブル×1 (1.5m)

配線方法



弱電線の接続 (小勢力配線)

- 適合電線 φ0.65~φ0.9銅単線 (CPE-V線またはAE線など)
- 配線長: 50m以下

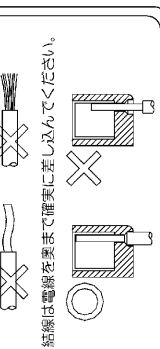
芯線を傷つけないよう絶縁を剥き、導管に差し込んでください。
●有極性です。該当端子に正しく接続してください。
●はずす場合は、リリース紐をマイナストライバーで押し、電線を引き抜いてください。

有極性
赤 白 黒
赤 白 黒
赤 白 黒

無極性
赤 白 黒
赤 白 黒
赤 白 黒

電源線の接続

- 適合電線 φ1.6, φ2.0銅単線
- 単相3線 (1φ3W) AC100V専用です。
- 各相正しく接続してください。
- 分電盤送り端子の接続は分電盤の使用方法にしたがい正しく接続してください。
- また導力が弱くなるように配線してください。
- はずす場合は、はずし剣をマイナストライバーで押し、電線を引き抜いてください。



有極性
赤 白 黒
赤 白 黒
赤 白 黒

無極性
赤 白 黒
赤 白 黒
赤 白 黒

ハリス教習所
ハリス教習所 (水道) 電源入力方式をご使用の際は
リートスイッチ方式 オープンレイン方式

電源スイッチ
電源スイッチ (ジョイントBOX)

警告 本機は電圧供給が可能です。【電源仕様】 DC12V 1.0mAまで ※流量計赤線 (Vcc) を本体「水運用端子」に接続してください。

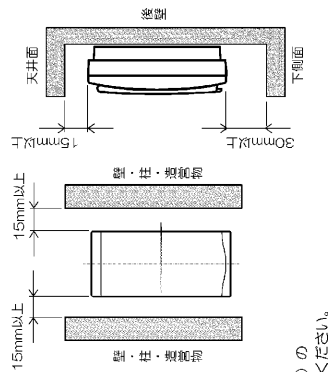
アース線の接続

- D導 (第3種) 接地工事
- 適合電線 φ11.6, φ2.0銅単線

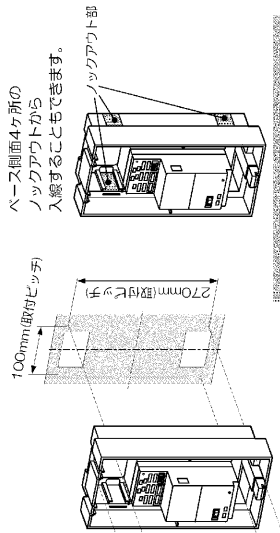
単相3線 AC100V 有極性

機器取付方法

- 本体の取付けは、天井面・側面から15mm以上、下側面から30mm以上の間隙（隙間）を設けてください。



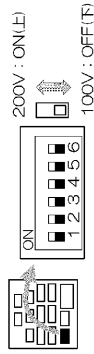
- 露出取付け
前面の線筒はベース（=ボックス）の配線孔に合わせて壁に穴を開けてください。



- 半埋込取付け
ベースを壁に埋込めません。壁穴開け方法は、タテ・ヨコともに、本体外形寸法マインス16mm以上、26mm未満を目安としてください。

設定方法

- 「電流センサの取付・接続」にて200V単相回路に取付けられた分岐センサのチャンネルをONにしてください。



スイッチ番号	計測対象機器
1	太陽光発電(PV)
2	単相3線出力機器の場合(電流センサ2個で計測する場合)、ON(L)にします。*
3	燃焼電機(F-C)の設定
4	燃焼電機(F-C)の設定
5	ガスメータの設定
6	水運メータの設定

*20回路または30回路に接続した場合は、200V側の計測対象回路は「5」～「10」回路となります。

日本国内専用

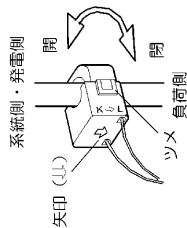
Use only in Japan

電流センサの取付・接続

主幹・発電用

※接続があります。

- 矢印を間違えないで取付け下さい。
- センサラベル番号（L1/L2）と電源線の極性（L1/L2）を合わせてください。



- 電流センサの取付方法
① 電流センサのツメをはずし開ける。
② 電流センサ本体についている矢印を負荷側へ合わせる。
③ 「バチン」と鳴るまでツメをしっかり閉めてから回める。

電流センサの接続

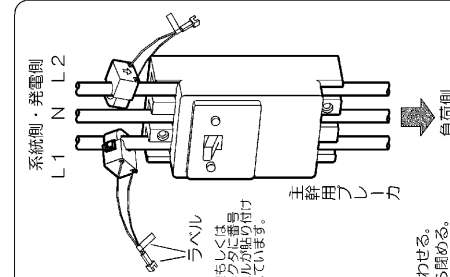
- エネルギー計測ユニット本体に接続されている電流センサ中継ケーブルのラベル番号と、電流センサに付いているラベル番号を合わせてコネクタ接続します。
- 電流センサ中継ケーブルと電源線は離れられないように配線してください。

- ※ラベル番号をあわせてください。

コネクタは分岐箱内部で接続が確認できる位置に配置してください。

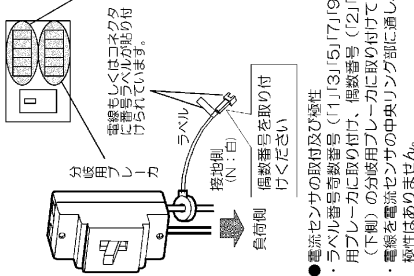
警告

過電流時、点検時には必ず主幹ブレーカおよび主電源を切ってください。電流が入ったままの施工、点検は感電・短絡の原因となります。



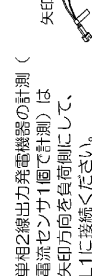
※200V側の計測は「5」～「10」の範囲です。それ以外は計測できません。

分岐用



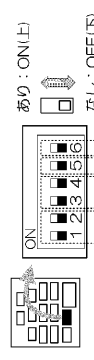
● 電流センサの取付及び極性
・ラベル番号奇数番号（「1」「3」「5」「7」「9」）はL1（上側）の分岐用ブレーカに取り付け、偶数番号（「2」「4」「6」「8」「10」）はL2（下側）の分岐用ブレーカに取り付けてください。
・電線を電流センサの中央リング部に通し、取の付けてください。極性はありません。

単相2線出力発電機器の接続



接続設定スイッチの設定

- 接続した計測機器の有無および内容を設定します。※設定された機器は、計測されません。



スイッチ番号	計測対象機器
1	太陽光発電(PV)の設定
2	燃焼電機(F-C)の設定
3	燃焼電機(F-C)の設定
4	ガスメータの設定
5	水運メータの設定

※設定しませんが、単相3線計測として正しく計測がされません。

表示モニター

- 機器の動作状態をモニターにて表示します。
・正常動作中は「緑点灯」となります。（ネットワークとデータ通信している場合は、点滅します）
・機器に異常が発生した場合、「赤点灯」にて異常内容をお知らせします。各機器方法を実施してください。

モニターの状況	色	内容
点灯	緑	正常動作
連続点滅	赤	ネットワーク初期化動作中
1秒に2回点滅	赤	本機内部メモリ異常
3秒に8回点滅	赤	ネットワーク設定を再度実施してください。
4回点滅	赤	通信対象機器（アグセポイントなど）の電源が入っていないが確認してください。
5回点滅	赤	内部時刻異常
7回点滅	赤	電源配線異常
7回点滅	赤	電流センサ（主幹用/分岐用/発電用）が正しく取り付けられているか、接続異常、正しい極性の設定がされているか確認してください。